

# 水素活用による、 鉄道と自動車のモビリティ連携の検討を開始

## 一 地域と協調し、サステナブルな低炭素社会の実現に貢献 一

トヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)と東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR 東日本)は、地球温暖化問題やエネルギーの多様化などに対応したサステナブルな低炭素社会の実現に向け、**水素を活用した鉄道と自動車のモビリティ連携**を軸とした包括的な業務連携の基本合意を締結しました。

このほど合意に至った背景は、鉄道と自動車という陸上の代表的な交通機関が連携して、両社の経営資源を融合させ、**水素を活用した取り組みを促進することにより、低炭素社会への動きを加速**させることにあります。

トヨタは、**自社開発した燃料電池(FC)技術による自動車(FCV)やバス(FCバス)の開発、水素供給インフラ(水素ステーション)整備の支援に関わる経験・ネットワーク**、JR 東日本は、**鉄道事業や駅および駅周辺の開発に関わる技術・ノウハウ・経営資源**を有しています。

これらを持ち寄り、JR 東日本社有地を活用した水素ステーション整備、地域交通におけるFCV・FCバスの導入、鉄道車両へのFC技術の応用など、水素活用を軸として幅広い領域において具体的な検討を進めていきます。

さらに、**両社の連携がより地域に根ざした取り組み**となるよう、自治体や企業・地域の皆さまなど多くのステークホルダーに協調を呼びかけ、地域の発展や魅力ある地域づくりに貢献する水素サプライチェーンの構築を目指していきます。

### 【水素を活用した業務連携の検討テーマ】

<将来的に目指す姿>

**▽自治体・企業・地域の皆さまなど多くのステークホルダーと協調し、  
駅を拠点とした水素サプライチェーンの構築による、低炭素で魅力ある地域づくりへの貢献**

<当面の具体的な取り組み>

#### **1. 水素ステーション整備・拡充など水素エネルギーの普及促進**

- ・ JR 東日本が進める品川開発プロジェクトにおける水素ステーションの整備
- ・ 鉄道に接続する地域交通等へのFCV・FCバスの導入
- ・ JR 東日本社有地を活用した、東日本エリアでの水素ステーション整備・拡充の支援

#### **2. 鉄道車両へのFC技術の導入**

- ・ 大量の水素を搭載する移動体の安全性などに関する技術研究
- ・ FC 鉄道車両の開発・導入に向けた諸課題の解決

# 水素を活用した鉄道と自動車のモビリティ連携（目指す姿）

自治体・  
企業・地域

将来的に目指す姿  
駅を拠点とした水素サプライチェーンの構築による、  
低炭素で魅力ある地域づくり

- 当面の具体的な取り組み
- ① 水素ステーション整備、拡充など水素エネルギーの普及促進
  - ② 鉄道車両へのFC技術の導入 など



- 先進のFC技術によるFCV、FCバスの開発
- 水素供給インフラの整備支援

- 鉄道・駅及び駅周辺の開発に関わる技術・ノウハウ